

鈴鹿短期大学専攻科ニューズレター

Suzuka Junior College News Letter

平成 26 年
9・10 月合併号
Vol.3
担当：中山

こんにちは、専攻科一年生のなかやまです。

季節は霜月に入り、短大のある郡山も木々が紅葉し、落葉が冬支度を思わせる寒い日々が続いています。季節柄風邪を引きやすく、体調を崩さないように気をつけないといけませんね。

専攻科に入学してあっという間に半年以上が過ぎてしまいました。課題をこなすことにもなれてき、若干余裕が出てきましたが、本格的に修了研究がスタートし、中々だらだらしてられません。専攻科 4 期生はみな、毎日きりきりと頑張っています。(態度も、時々胃も…)



専攻科修了研究中間報告会が おこなわれました！！

2014 年 10 月 25 日・26 日（土・日）に、鈴国祭&鈴短祭 2014 が開催されました。

その中の楽しいイベントの 1 つとして、保健実習室にて 4 期生専攻科健康生活学専攻科の修了研究中間報告会を行いました。研究の背景や目的、調査方法、研究計画などについて、パワーポイントにて発表をしました。発表タイトルは、以下の通りです。



「学校における保健室の位置について
—中学校の養護教諭の評価と工夫—」 大澤隼人

「小中学校における朝の健康観察の
実施方法の把握と検討」 亀田えりか

「保健室閉鎖とその課題」 中山あやね

発表を終えて・・・

専攻科に入学して、初の晴れ舞台ということで非常に緊張しました。発表をするまでに、たくさんの先生方からパワーポイントの構成や発表の仕方について指導していただきました。お蔭様でそれぞれ工夫や見やすいパワーポイントを作成することができました。

しかし、発表中にミスをしてしまったり、初の質疑応答でうろたえてしまったり、と反省点もたくさんありました。先生や先輩方がいかにすごいのかということが身に染みて分かった時でした。

これから、調査をお願いし、学校を訪問してインタビューをお願いするなど、構想で考えた仮説を実証することになり、先生や先輩方からいただいたご意見を踏まえ、研究をがんばっていきたいです。

師曰く・・・

心地よい緊張感がすっかりクセに
なったでしょう・・・ 川又

わかったことが養護実践に生きる 大野

